



株式会社ブルーレモンファーム SDGs宣言

当社は、「荒廃地を再生し、レモン園地にする。若い世代に島の農業を伝授する。岩城島のレモン生産量を増やす。農業に意欲のある若者を育成する。」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年9月1日

株式会社ブルーレモンファーム

代表取締役 古川 泰弘



重点項目(ターゲット2030)

安心安全な国産レモンの提供

国民の健康志向の高まりと、お客様のニーズにお応えできるよう、安全性の高い愛媛県産ブランドである「岩城レモン」の栽培に取り組みます。

【主な取り組み】

減農薬で防腐剤やワックスの不使用による安全性の高い国産レモンの栽培、適切な在庫管理・保存による岩城レモンの周年販売



事業活動を通じた地域貢献

岩城島特産の岩城レモンの周年販売を実現し、収穫量の拡大、新規雇用の創出を目指し、地域経済の活性化を図ります。

【主な取り組み】

地元耕作放棄地の積極的なメンテナンス、Iターン・Uターン農業者への支援、移住者の拡大への取り組み



限りある資源の積極活用

これまで廃棄せざるを得なかったキズもののレモンや、ジュース等加工品製造後に発生するレモン搾りかすを資源として活用。廃棄物を出さない体制を目指します。

【主な取り組み】

レモンの搾りかすや皮を飼料として地元の飼育業者に提供、冷凍処理したキズもののレモンの有効活用(カフェで提供するレモンジュースの氷に使用)、放置竹林をチップにし堆肥として活用



人材育成、地域社会との共存

人材の育成、地域資源を活用し、地域経済の活性化に努め、地域社会の発展に貢献します。地域社会とのつながりを大切に、積極的な人材育成を通じて、次世代を担う若者の育成に取り組みます。

【主な取り組み】

地元人材・移住者の採用、未経験者への研修制度、従業員への教育体制の整備、地域と連携した防災訓練への参加、地域行事への参加



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。